

# 令和3年度 第3回 熊取町下水道事業経営委員会

日時： 令和4年2月7日（月）

時間： 15：00から

場所： 熊取町役場北館3階 大会議室

## 本日の内容

- I. 使用料見直し検討について
- II. その他

# 1. 使用料見直し検討について

---

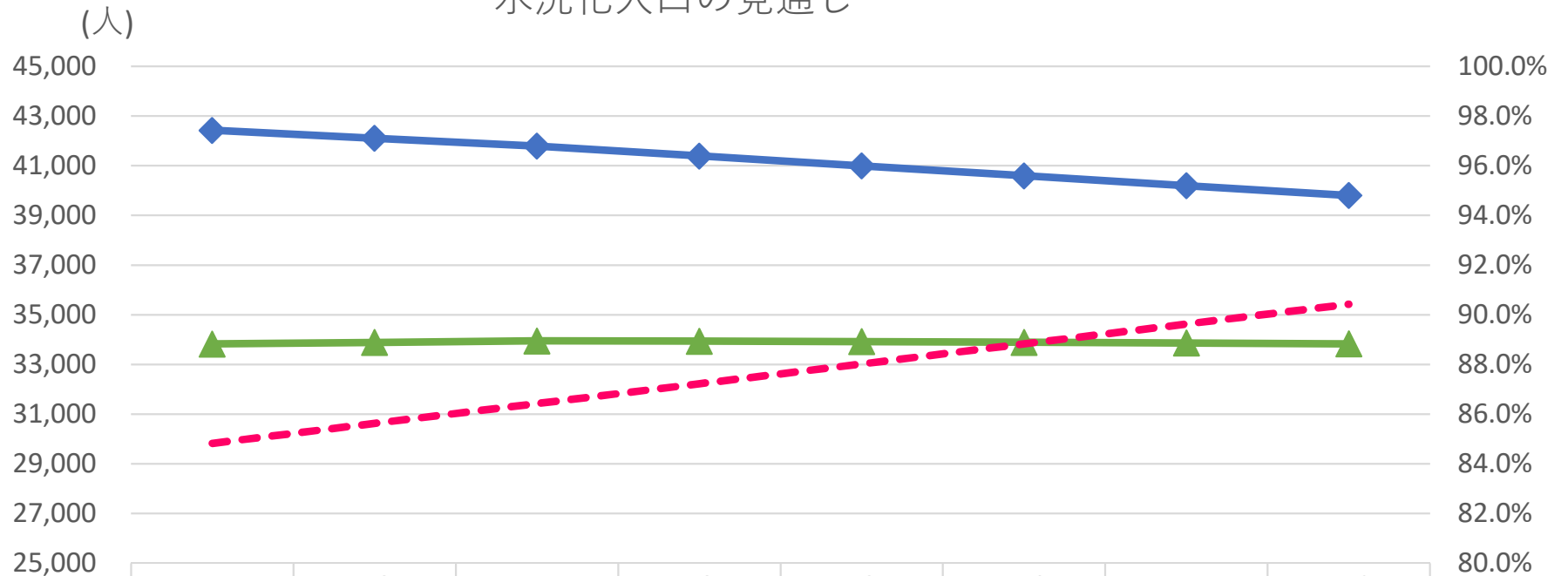
## 1. 収支計画の基本条件の見直し

### (1) 見直し項目とその理由

項目	説明	変更した理由
<p><b>人口普及率の見直し</b></p>	<p>熊取町下水道ビジョンでは人口普及率の増加をR2～R3は前年比+0.67%、R4以降は+0.83%～+0.84%と見込んでいたが、見直し後はR2を決算数値とし、そこから、R3～R4は+0.7%、R5以降は+0.8%とした。</p>	<p>令和2年度の決算状況を踏まえると、下水道ビジョン策定時より、実際の人口普及率が上昇したため。</p>
<p><b>有収水量の見直し</b></p>	<p>熊取町下水道ビジョンでは1人1日あたり有収水量の減少を見込んでいた（ビジョンP111）が、令和元年度実績の277ℓ/日のまま推移するものとした。</p>	<p>令和2年4月からの大口利用者の増加などにより、使用水量の減少傾向が緩和されていることを踏まえ変更。</p>
<p><b>一般会計からの人件費負担金</b></p>	<p>一般会計から人件費負担分として年500万円を収入することとなった。 （500万円×4年間＝計2,000万円を一般会計補助金で受ける）</p>	<p>組織改編に伴う変更。</p>

## (2) 人口・水量の見通し

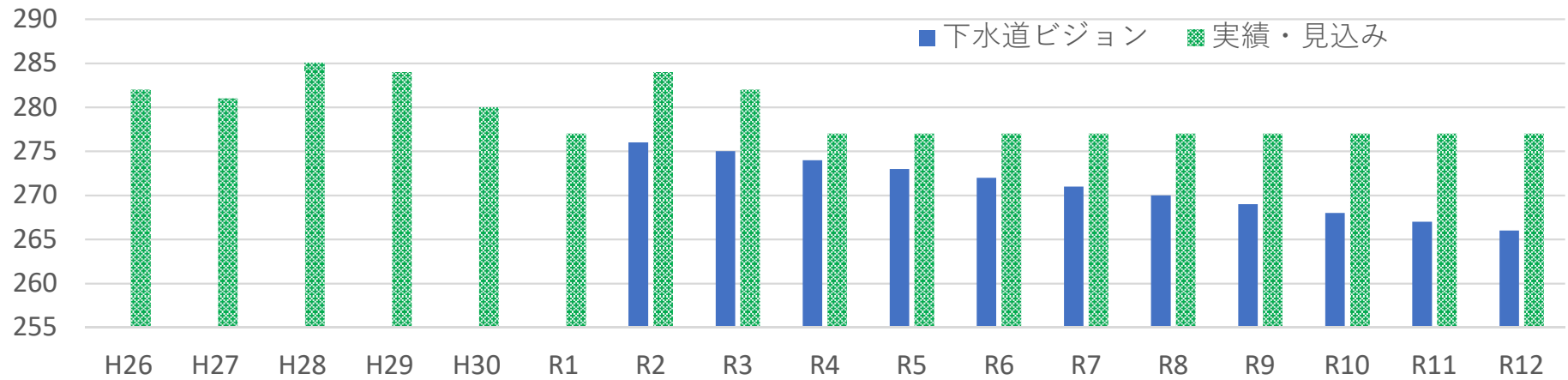
水洗化人口の見通し



	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
◆ 行政区域内人口	42,426	42,107	41,789	41,392	40,995	40,597	40,200	39,803	
▲ 水洗化人口 (水洗化率94%)	33,829	33,891	33,950	33,939	33,921	33,897	33,868	33,832	
●●● 人口普及率	84.8%	85.6%	86.4%	87.2%	88.0%	88.8%	89.6%	90.4%	
参考	ビジョン策定時 水洗化人口 (水洗化率94%)	33,524	33,602	33,676	33,680	33,678	33,671	33,657	33,636
	ビジョン策定時 人口普及率	84.1%	84.9%	85.7%	86.6%	87.4%	88.2%	89.1%	89.9%

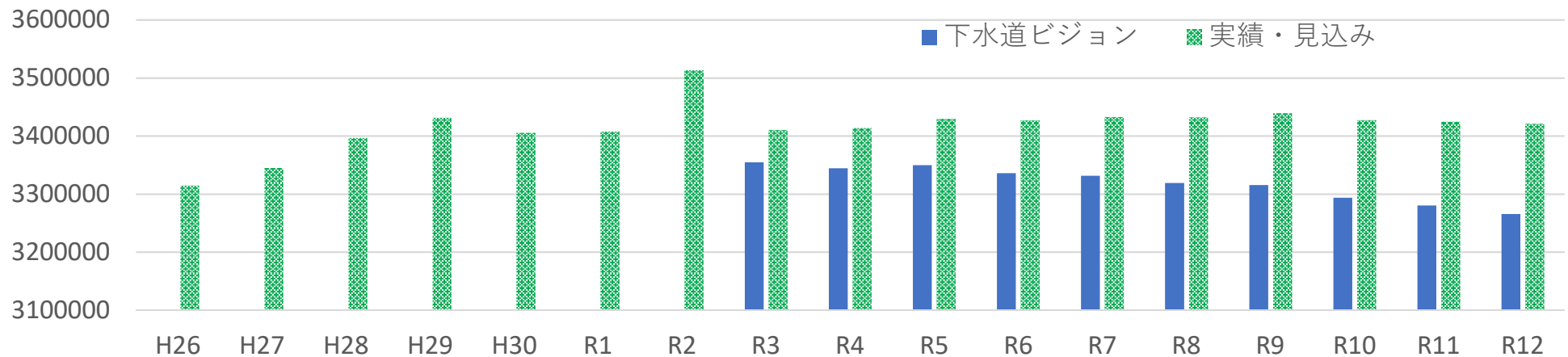
(e)

## 1人1日あたり有収水量の推移



(m<sup>3</sup>)

## 有収水量の見通し

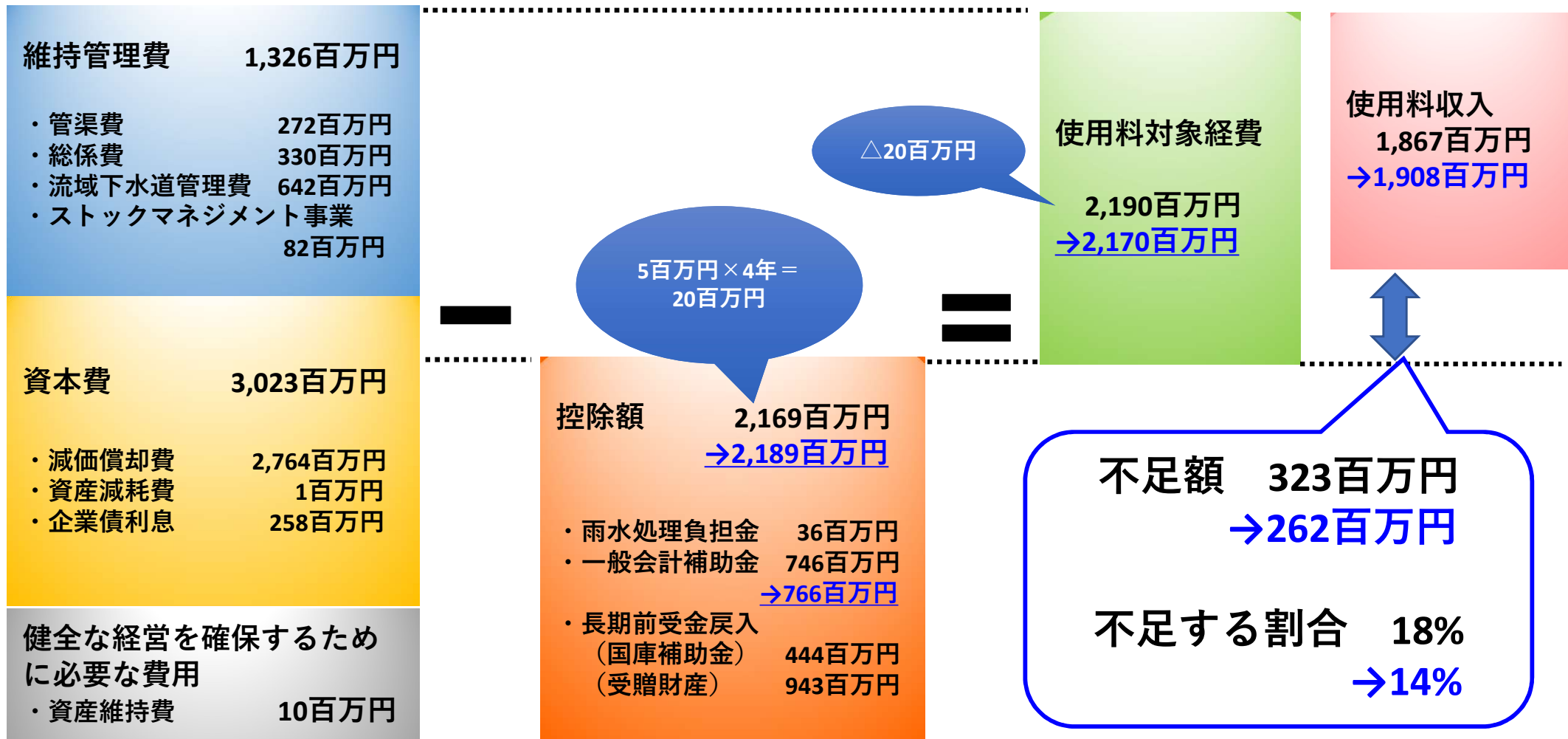


# 1. 使用料見直し検討について

## (3) 見直し後使用料対象経費と使用料収入の不足する割合

(算定期間 令和5年度～令和8年度)

※ 基本条件を見直したことにより、使用料対象経費及び使用料収入の不足割合は下図青字のとおりとなった。

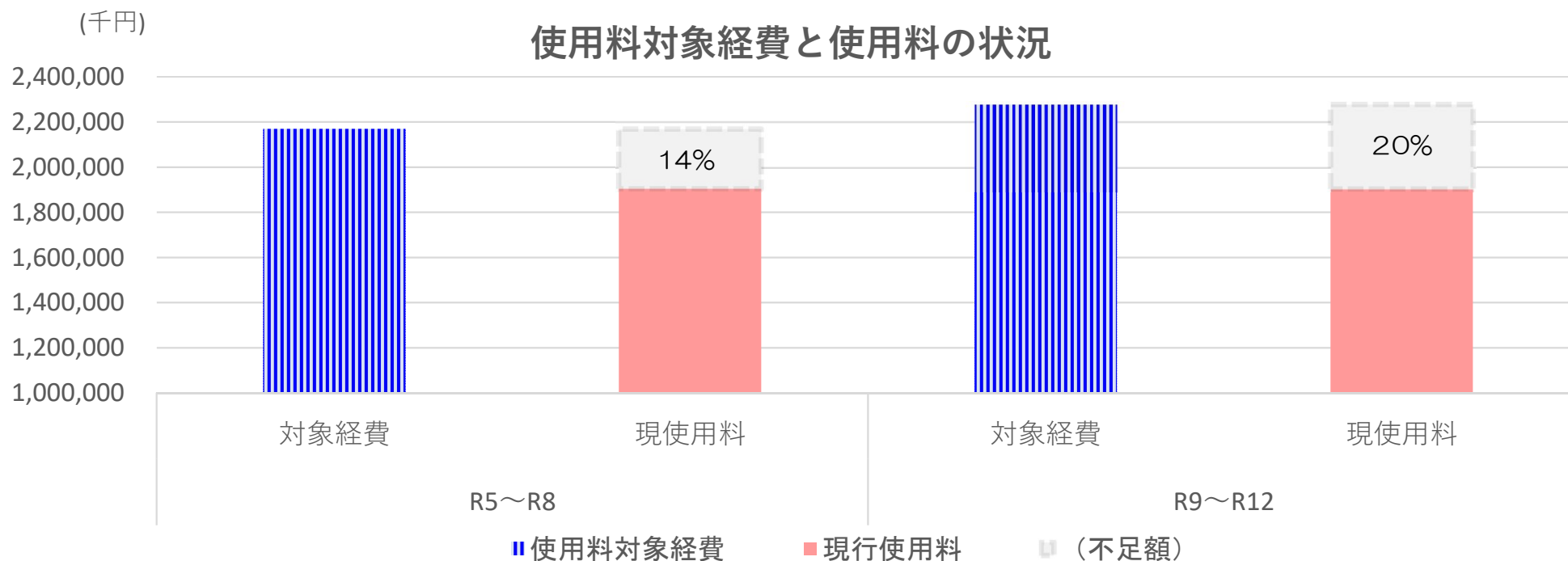


## ■ 向こう10年間の使用料収入が対象経費に不足する割合の目安（見通し）

改定年度 (4年に1回)	令和5年度	令和9年度
不足する割合 の目安	18% →14%	6% →+5% →20%

※ 上記の割合は現行の使用料と比較した場合のパーセンテージ

※ 令和9年度の不足する割合は予測値です。令和5年度以降の状況により変動する可能性があります。





## 2. 使用料見直しの基本的な考え方

- 新たな算定方法に基づいた料金算出を実施し、基本料金を可能な限り確保する
- 水量区分は上水道料金の区分と合わせ、現行と同一区分とする
- 水量の少ない高齢世帯等への福祉的配慮を検討した上でボリュームゾーンを意識した料金設定とし、一方で大口利用者へ過度な負担にならないよう留意する
- 近隣市町とのバランスを意識する
- 4年毎の見直しを実施するが、中期（10年程度）を見通した料金算定とする
- 一般会計からの基準外繰入に頼らない財政運営を目指すとともに、財政健全化の判断指標となる「当年度純利益」「補填財源残高」「資金残高」についてビジョンに掲げる目標を達成する

## 3. 改定料金表について

### (1) 新旧対比表 (1か月につき・税抜)

(現行)	
使用者群の区分	使用料
8 m <sup>3</sup> まで	836円(一律)
9～10 m <sup>3</sup>	110円/m <sup>3</sup>
11～20 m <sup>3</sup>	125円/m <sup>3</sup>
21～30 m <sup>3</sup>	142円/m <sup>3</sup>
31～40 m <sup>3</sup>	166円/m <sup>3</sup>
41～60 m <sup>3</sup>	191円/m <sup>3</sup>
61～100 m <sup>3</sup>	200円/m <sup>3</sup>
101～500 m <sup>3</sup>	243円/m <sup>3</sup>
501～1000 m <sup>3</sup>	286円/m <sup>3</sup>
1001 m <sup>3</sup> ～	330円/m <sup>3</sup>

基本  
水量制



(改定案)		
基本使用料		650円/月
従量 使用料	使用者群の区分	単価
	0～10 m <sup>3</sup>	49円/m <sup>3</sup>
	11～20 m <sup>3</sup>	142円/m <sup>3</sup>
	21～30 m <sup>3</sup>	187円/m <sup>3</sup>
	31～40 m <sup>3</sup>	216円/m <sup>3</sup>
	41～60 m <sup>3</sup>	221円/m <sup>3</sup>
	61～100 m <sup>3</sup>	236円/m <sup>3</sup>
	101～500 m <sup>3</sup>	275円/m <sup>3</sup>
	501～1000 m <sup>3</sup>	314円/m <sup>3</sup>
	1001 m <sup>3</sup> ～	334円/m <sup>3</sup>

基本水量制  
は廃止

# I. 使用料見直し検討について

## (2) 改定による影響額 (1か月につき ・ 税抜)

使用水量	改定前	改定後	影響額	改定率	堺市以南で比較した順位 (高い方から)
1 m <sup>3</sup> /月	8 3 6 円	6 9 9 円	△1 3 7 円	△1 6.4 %	5 位
2 m <sup>3</sup> /月	8 3 6 円	7 4 8 円	△8 8 円	△1 0.5 %	5 位
3 m <sup>3</sup> /月	8 3 6 円	7 9 7 円	△3 9 円	△4.7 %	5 位
4 m <sup>3</sup> /月	8 3 6 円	8 4 6 円	+ 1 0 円	+ 1.2 %	5 位
8 m <sup>3</sup> /月	8 3 6 円	1,0 4 2 円	+ 2 0 6 円	+ 2 4.6 %	4 位
1 0 m <sup>3</sup> /月	1,0 5 6 円	1,1 4 0 円	+ 8 4 円	+ 8.0 %	6 位
2 0 m <sup>3</sup> /月	2,3 0 6 円	2,5 6 0 円	+ 2 5 4 円	+ 1 1.0 %	6 位
3 0 m <sup>3</sup> /月	3,7 2 6 円	4,4 3 0 円	+ 7 0 4 円	+ 1 8.9 %	3 位
4 0 m <sup>3</sup> /月	5,3 8 6 円	6,5 9 0 円	+ 1,2 0 4 円	+ 2 2.4 %	3 位
6 0 m <sup>3</sup> /月	9,2 0 6 円	1 1,0 1 0 円	+ 1,8 0 4 円	+ 1 9.6 %	3 位
1 0 0 m <sup>3</sup> /月	1 7,2 0 6 円	2 0,4 5 0 円	+ 3,2 4 4 円	+ 1 8.9 %	3 位
5 0 0 m <sup>3</sup> /月	1 1 4,4 0 6 円	1 3 0,4 5 0 円	+ 1 6,0 4 4 円	+ 1 4.0 %	5 位
1 0 0 0 m <sup>3</sup> /月	2 5 7,4 0 6 円	2 8 7,4 5 0 円	+ 3 0,0 4 4 円	+ 1 1.7 %	5 位

# I. 使用料見直し検討について

## ■ 堺市以南下水道使用料料金表

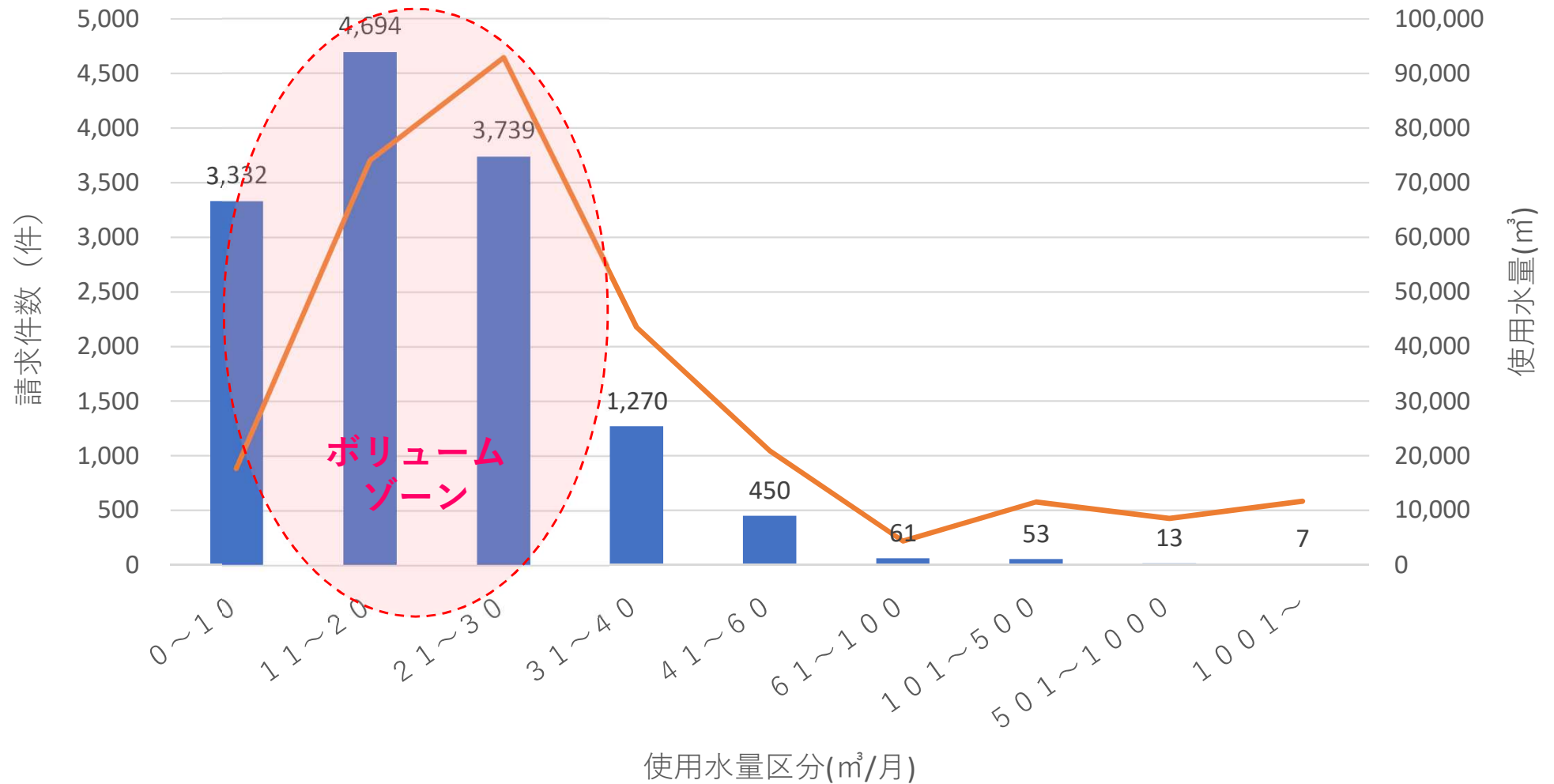
単位：円（税抜）

		熊取町 旧	熊取町 新	熊取町 新	堺市	高石市	泉大津市	忠岡町	和泉市	岸和田市	貝塚市	泉佐野市	田尻町	泉南市	阪南市	岬町	
基本料金	基本料金	836	500	650	665	325	361	315	520	1,050	849	450	640	475	903	414	
	基本水量有無	有	無	無	無	無	無	無	無	有	有	無	有	無	有	有	
	有の場合何mまで	8								10	10		8		8	6	
従量料金	1m <sup>3</sup> ~5m <sup>3</sup>						85										
	6m <sup>3</sup>													16			
	7m <sup>3</sup> ~8m <sup>3</sup>		52	49	50	84	90	76	56			45				92	
	9m <sup>3</sup> ~10m <sup>3</sup>	110													136		
	11m <sup>3</sup> ~15m <sup>3</sup>				140	134	138		122	156	107	140	86	143	141	103	
	15m <sup>3</sup> ~20m <sup>3</sup>	125	150	142				123							147		
	21m <sup>3</sup> ~30m <sup>3</sup>	142	197	187	200	149	147		136	196	130	153	100	171	152	115	
	31m <sup>3</sup> ~40m <sup>3</sup>	166	228	216												126	
	41m <sup>3</sup> ~50m <sup>3</sup>				210	193	180	157	150	212	155	184	115	199	165	138	
	51m <sup>3</sup> ~60m <sup>3</sup>	191	233	221													
	61m <sup>3</sup> ~70m <sup>3</sup>				270	232	209	180	177	286	187	213	143	228	206	161	
	71m <sup>3</sup> ~100m <sup>3</sup>	200	249	236												184	
	101m <sup>3</sup> ~200m <sup>3</sup>														278	232	207
	201m <sup>3</sup> ~300m <sup>3</sup>	243	290	275	335	271	242	210	204		312	229	243	172			
	301m <sup>3</sup> ~500m <sup>3</sup>					306	280	238	231						317	249	230
	501m <sup>3</sup> ~1,000m <sup>3</sup>	286	332	314	360	346	314	265	265	321	262	276	212	357	276	276	
	1,001m <sup>3</sup> ~5,000m <sup>3</sup>									279							
5,001m <sup>3</sup> ~	330	352	334	395	379	333	285	292		332	276	289	270	395	300	322	

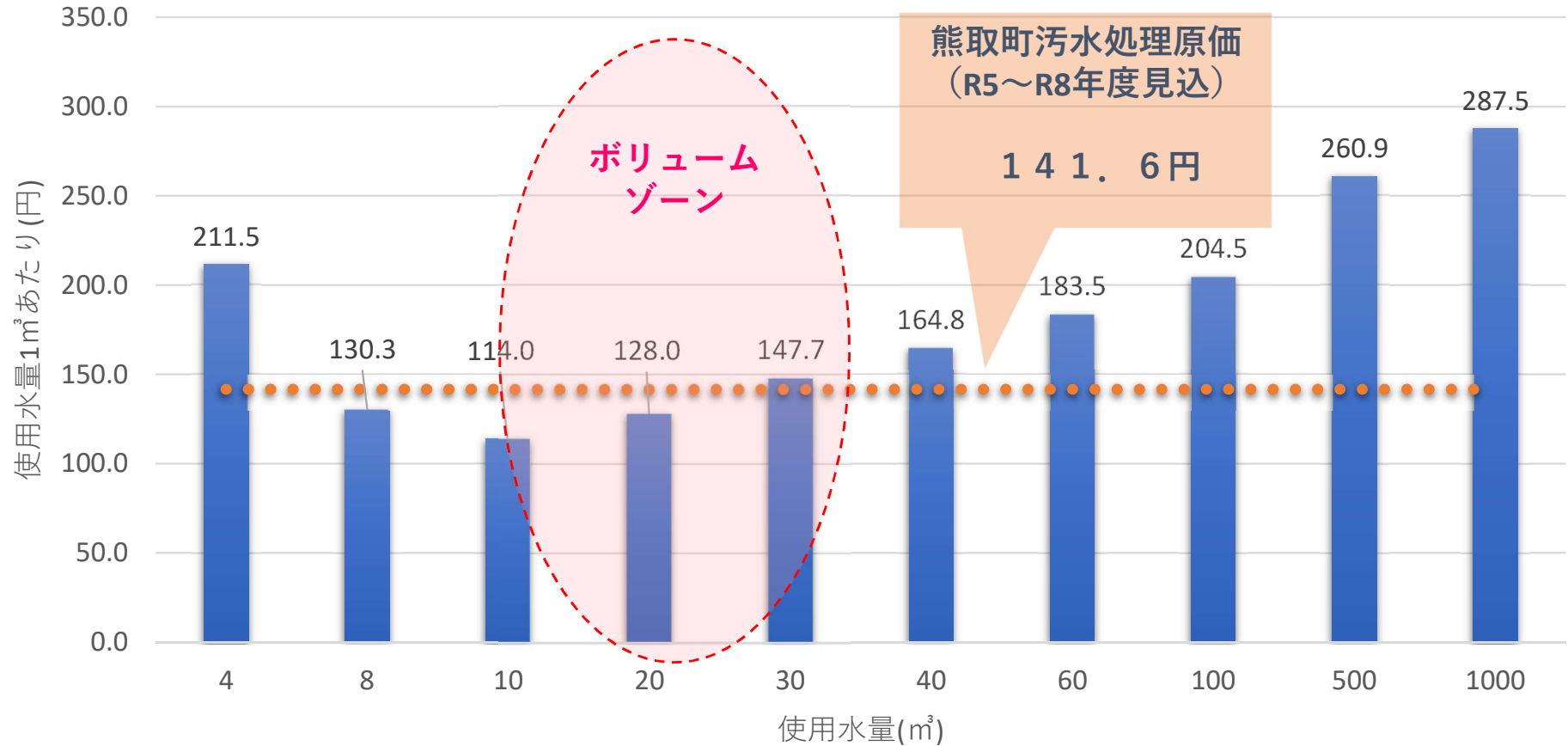
# I. 使用料見直し検討について

(税込)	熊取町 旧	熊取町 新	熊取町 新	堺市	高石市	泉大津市	忠岡町	和泉市	岸和田市	貝塚市	泉佐野市	田尻町	泉南市	阪南市	岬町
1㎡	910	600	760	786	449	490	430	633	1,155	933	544	700	540	993	450
	4	7	5	4	12	10	13	7	1	3	8	6	9	2	11
2㎡	910	660	820	841	542	584	513	695	1,155	933	594	700	557	993	450
	4	7	5	4	11	9	12	7	1	3	8	6	10	2	13
3㎡	910	720	870	896	634	677	597	756	1,155	933	643	700	575	993	450
	4	6	5	4	10	8	11	6	1	3	9	7	12	2	13
4㎡	910	770	930	951	727	771	680	818	1,155	933	693	700	592	993	450
	5	7	5	3	8	7	11	6	1	4	10	9	12	2	13
8㎡	910	1,000	1,140	1,171	1,096	1,161	1,015	1,064	1,155	933	891	700	942	993	650
	10	7	4	1	5	2	7	6	3	10	11	12	9	8	13
10㎡	1,160	1,120	1,250	1,281	1,281	1,359	1,182	1,188	1,155	933	990	890	1,257	1,292	860
	8	9	6	3	3	1	8	7	9	11	10	12	5	2	13
20㎡	2,530	2,770	2,810	2,821	2,755	2,877	2,535	2,530	2,871	2,110	2,530	1,830	2,830	2,876	1,990
	8	6	6	5	7	1	8	9	3	11	9	13	4	2	12
30㎡	4,090	4,930	4,870	5,021	4,394	4,494	3,888	4,026	5,027	3,540	4,213	2,930	4,711	4,548	3,250
	8	3	3	2	7	6	10	9	1	11	8	13	4	5	12
40㎡	5,920	7,440	7,240	7,331	6,517	6,474	5,615	5,676	7,359	5,245	6,237	4,200	6,900	6,363	4,640
	8	1	3	2	5	6	10	9	1	11	8	13	4	7	12
50㎡	8,020	10,010	9,680	9,641	8,640	8,454	7,342	7,326	9,691	6,950	8,261	5,460	9,089	8,178	6,160
	8	1	2	3	5	6	9	10	1	11	7	13	4	8	12
60㎡	10,120	12,570	12,110	12,611	11,192	10,753	9,322	9,273	12,837	9,007	10,604	7,040	11,597	10,444	7,930
	8	3	3	2	5	6	9	10	1	11	7	13	4	8	12
70㎡	12,320	15,310	14,700	15,581	13,744	13,052	11,302	11,220	15,983	11,064	12,947	8,610	14,105	12,710	9,700
	8	3	3	2	5	6	9	10	1	11	7	13	4	8	12
80㎡	14,520	18,050	17,300	18,551	16,296	15,351	13,282	13,167	19,129	13,121	15,290	10,180	16,613	14,976	11,720
	8	3	3	2	5	6	9	10	1	11	7	13	4	8	12
90㎡	16,720	20,790	19,890	21,521	18,848	17,650	15,262	15,114	22,275	15,178	17,633	11,760	19,121	17,242	13,750
	8	3	3	2	5	6	9	11	1	10	7	13	4	8	12
100㎡	18,920	23,520	22,490	24,491	21,400	19,949	17,242	17,061	25,421	17,235	19,976	13,330	21,629	19,508	15,770
	8	3	3	2	5	7	9	11	1	10	6	13	4	8	12
500㎡	125,840	151,120	143,490	171,891	148,340	134,789	115,802	112,761	162,701	117,995	126,896	89,010	156,819	127,198	114,440
	8	4	5	1	4	6	10	12	2	9	8	13	3	7	11
1,000㎡	283,140	333,720	316,190	369,891	338,640	307,489	261,552	258,511	339,251	262,095	278,696	205,610	353,169	278,998	266,240
	6	5	5	1	4	6	11	12	3	10	8	13	2	7	9

## ■ 使用水量区分別請求件数および使用水量（令和3年3月分）



## ■ 改定後の1m<sup>3</sup>あたりの使用料と汚水処理原価

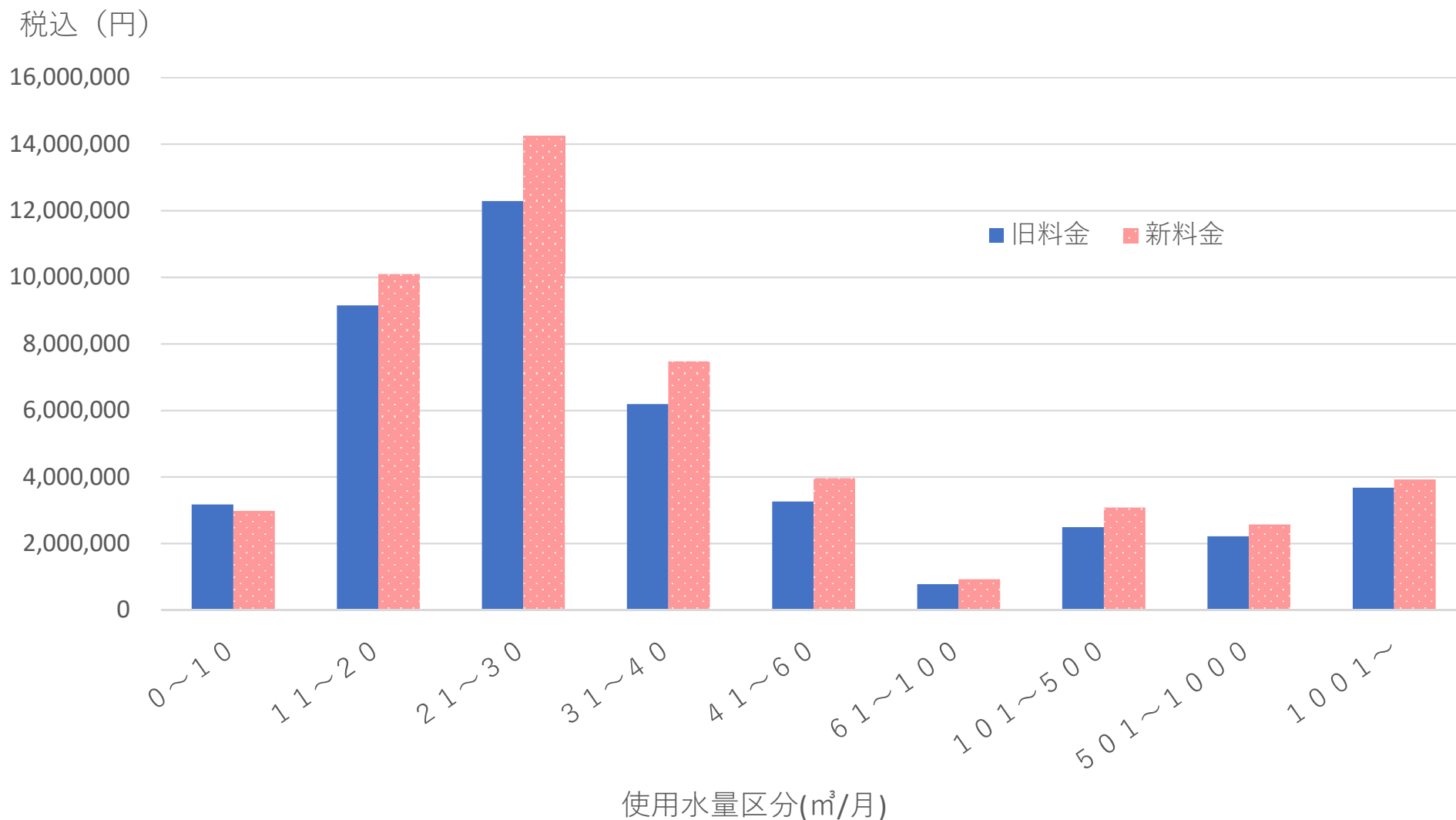


■ 1m<sup>3</sup>あたりの使用料(税抜)    ●●● 汚水処理原価(見込)

汚水処理原価 … 下水道使用料収入の対象となった汚水量(有収水量)1立方メートルあたりどのくらい汚水処理に費用がかかっているかを示す。

$$\begin{aligned}
 & \text{汚水処理費(公費負担分を除く)} \div \text{年間有収水量} \\
 & = (\text{総費用 } 4,357,647 \text{ 千円} - \text{公費負担分 } 802,195 \text{ 円} - \text{長期前受金戻入 } 1,612,051 \text{ 千円}) \div 13,720,560 \text{ m}^3 \\
 & = 141 \text{ 円} 64 \text{ 銭}
 \end{aligned}$$

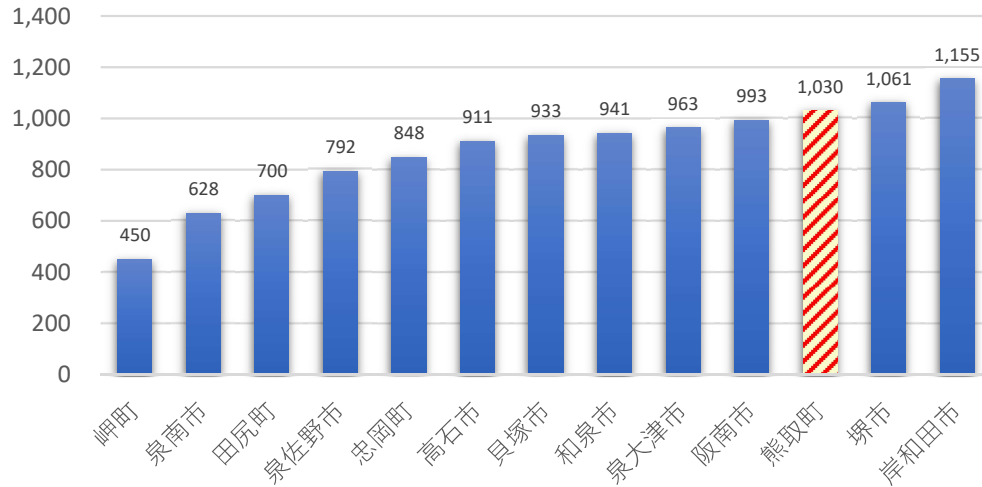
## ■ 新旧料金収入比較（令和3年3月使用水量で試算）



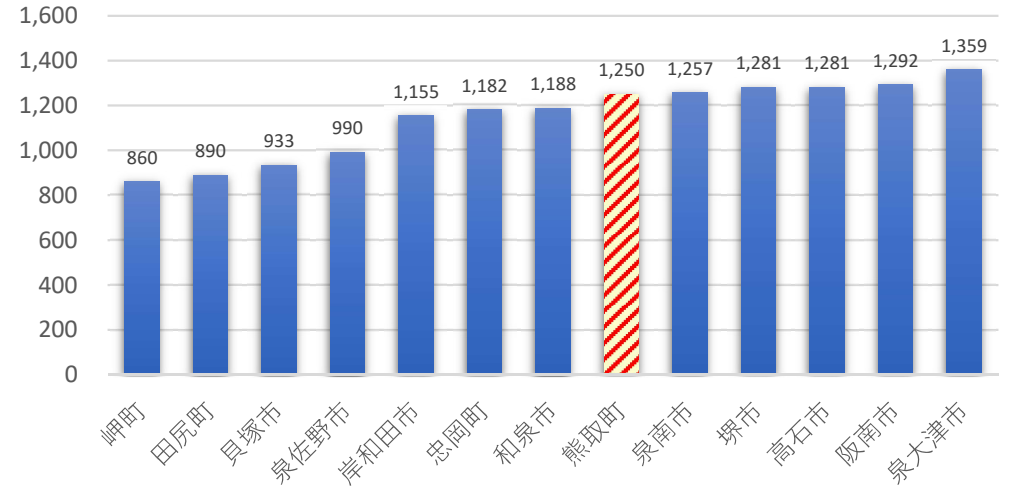


## (3) 改定後使用料の近隣自治体（堺市以南13市町）との比較

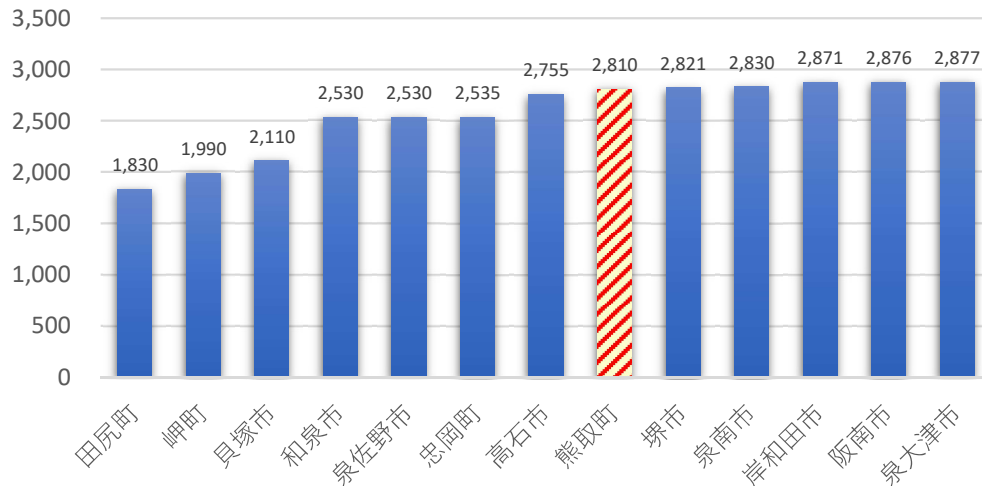
6 m<sup>3</sup>/月（税込）



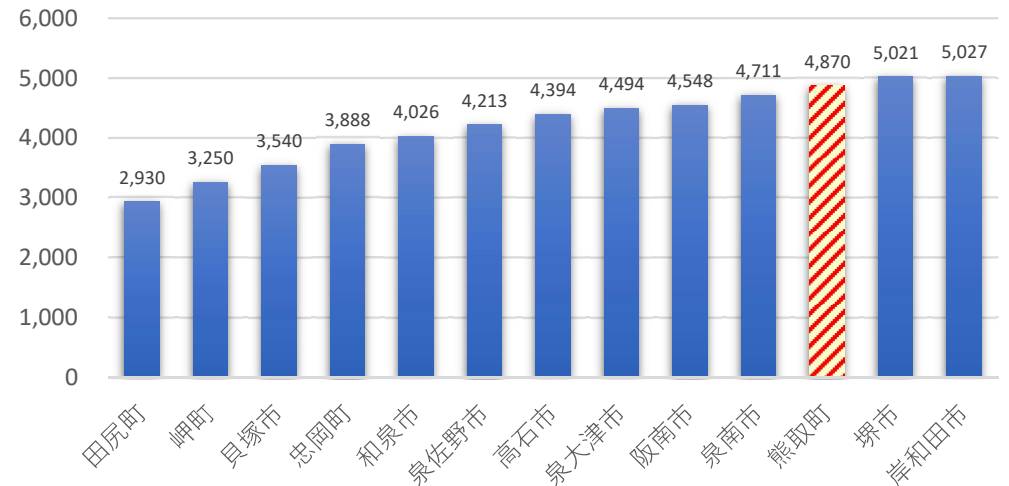
10 m<sup>3</sup>/月（税込）



20 m<sup>3</sup>/月（税込）

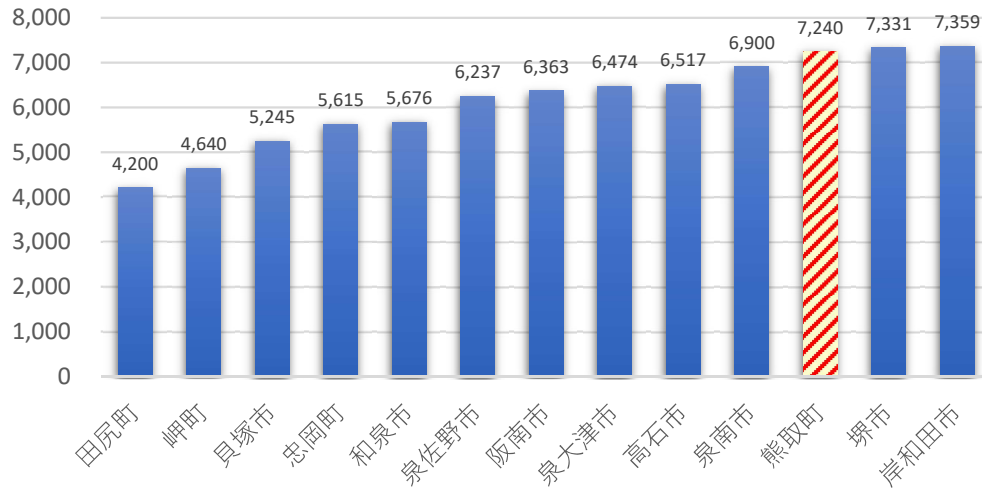


30 m<sup>3</sup>/月（税込）

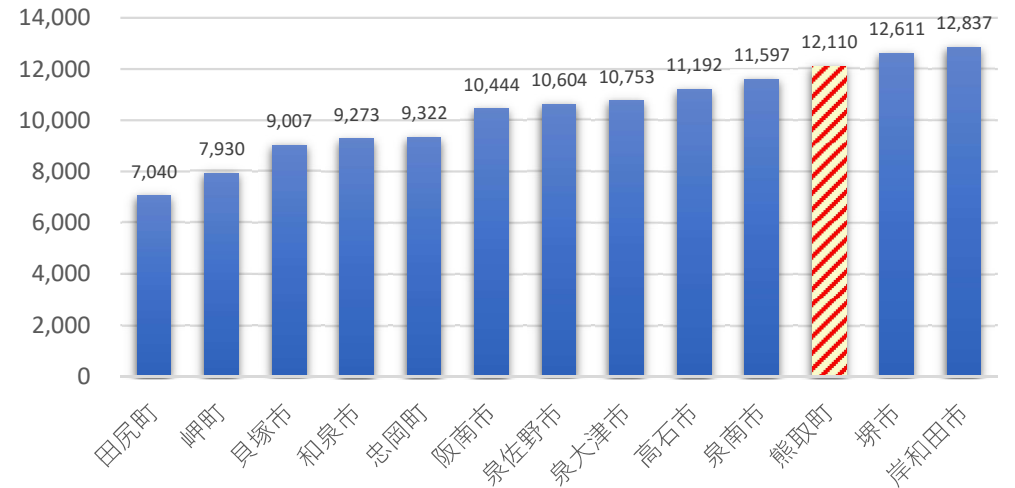


# I. 使用料見直し検討について

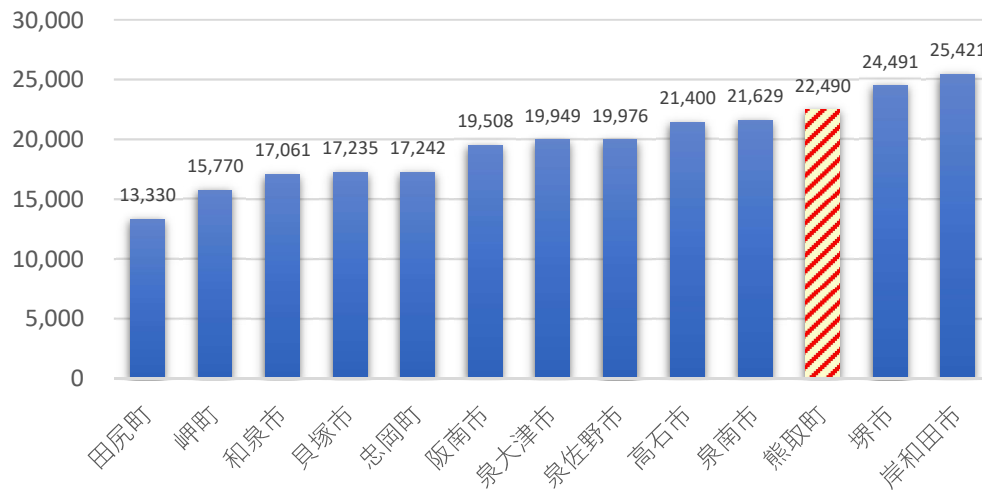
40 m<sup>3</sup>/月 (税込)



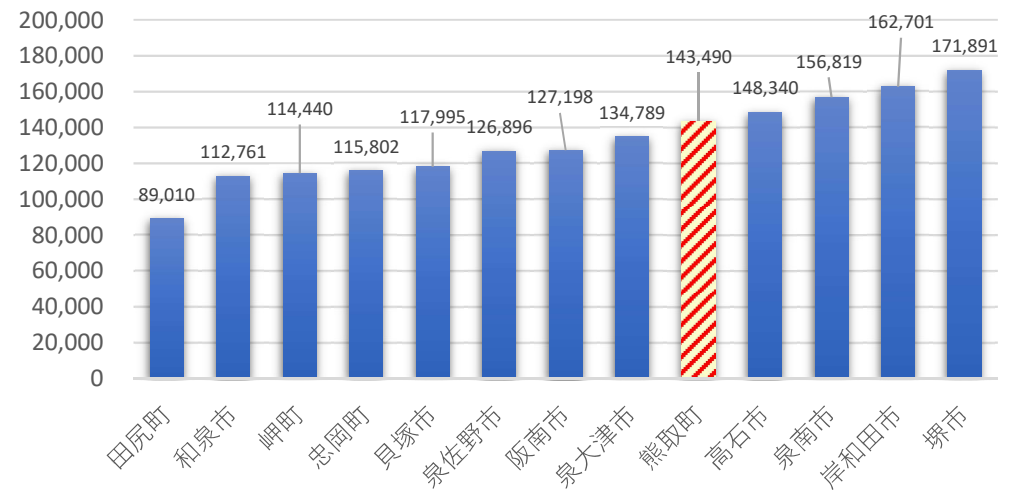
60 m<sup>3</sup>/月 (税込)



100 m<sup>3</sup>/月 (税込)

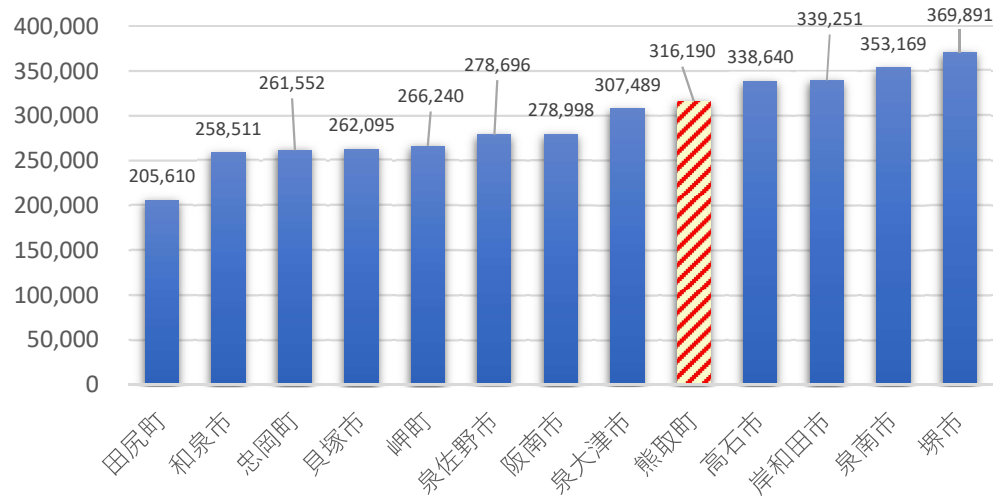


500 m<sup>3</sup>/月 (税込)



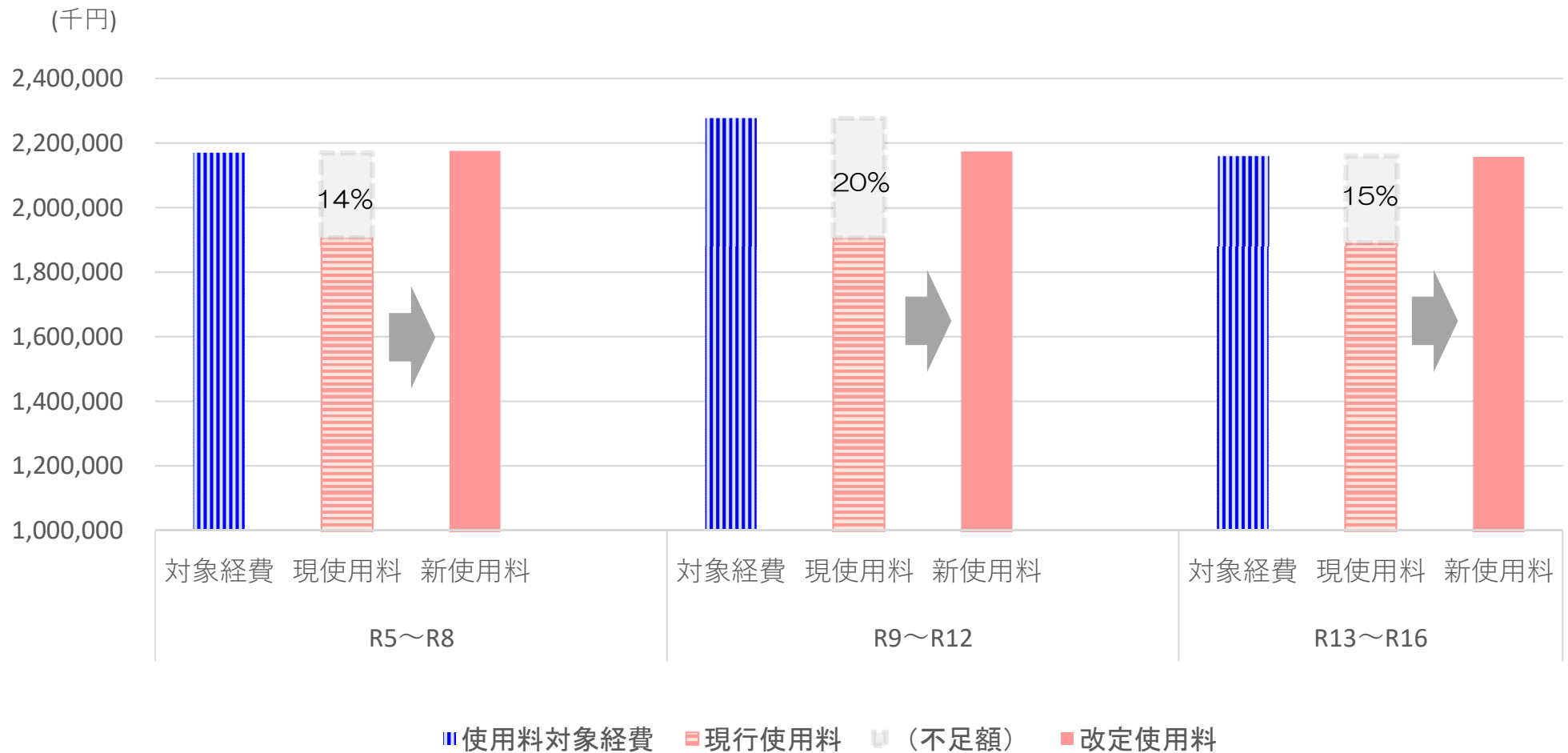
# I. 使用料見直し検討について

1000m<sup>2</sup>/月（税込）

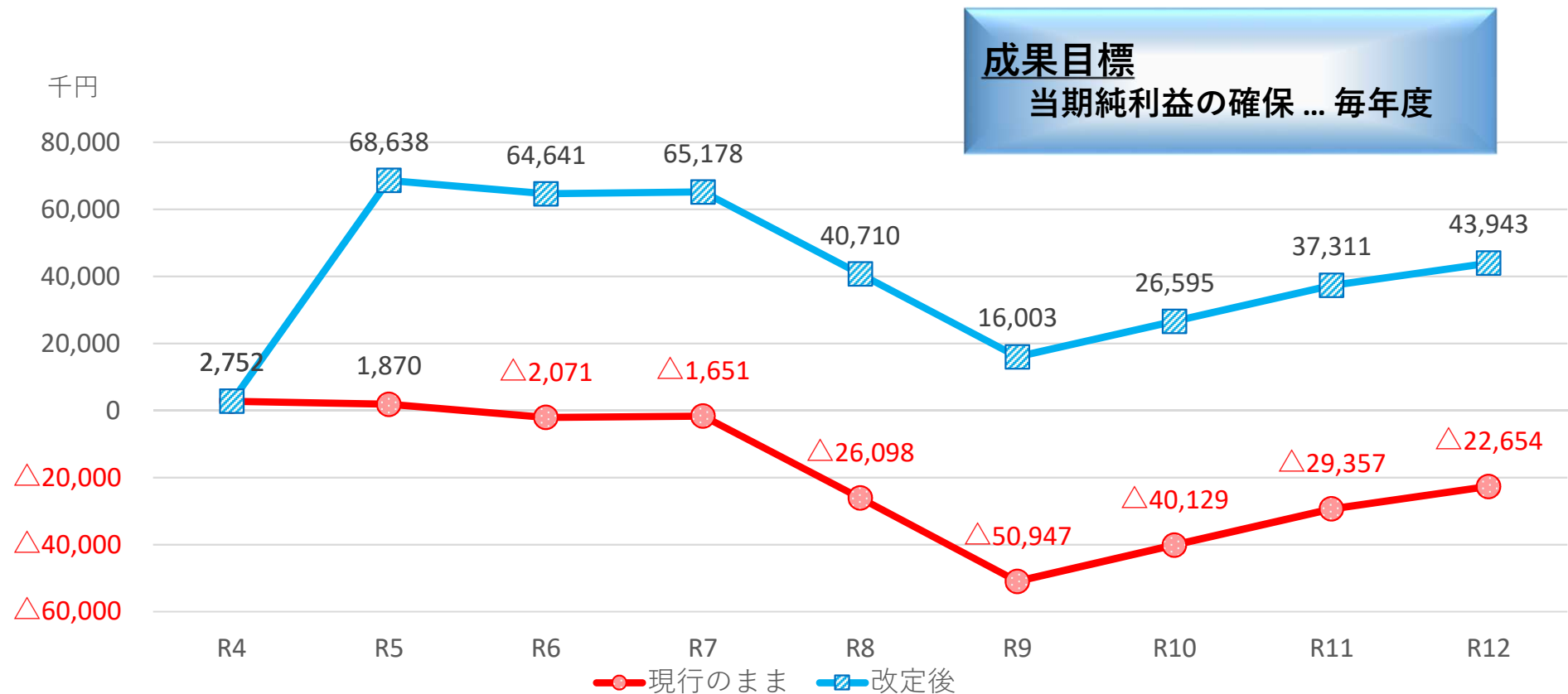


## 4. 改定後の収支予測

### ■使用料対象経費の不足分と令和9年度以降新使用料を据え置いた場合の比較



## ■ 当期純利益の予測



※ スライド4ページの基本条件見直し後の収支で比較。

※ 令和9年度の使用料見直し時は料金据え置きとして試算した。

※ 基準外繰入金は資金不足となる場合のみ不足分だけ収入するものとして試算した。

現行使用料のままでは赤字となる見通しであるが、使用料改定により収支が改善し、毎年度当期純利益を確保できる見通しとなる。

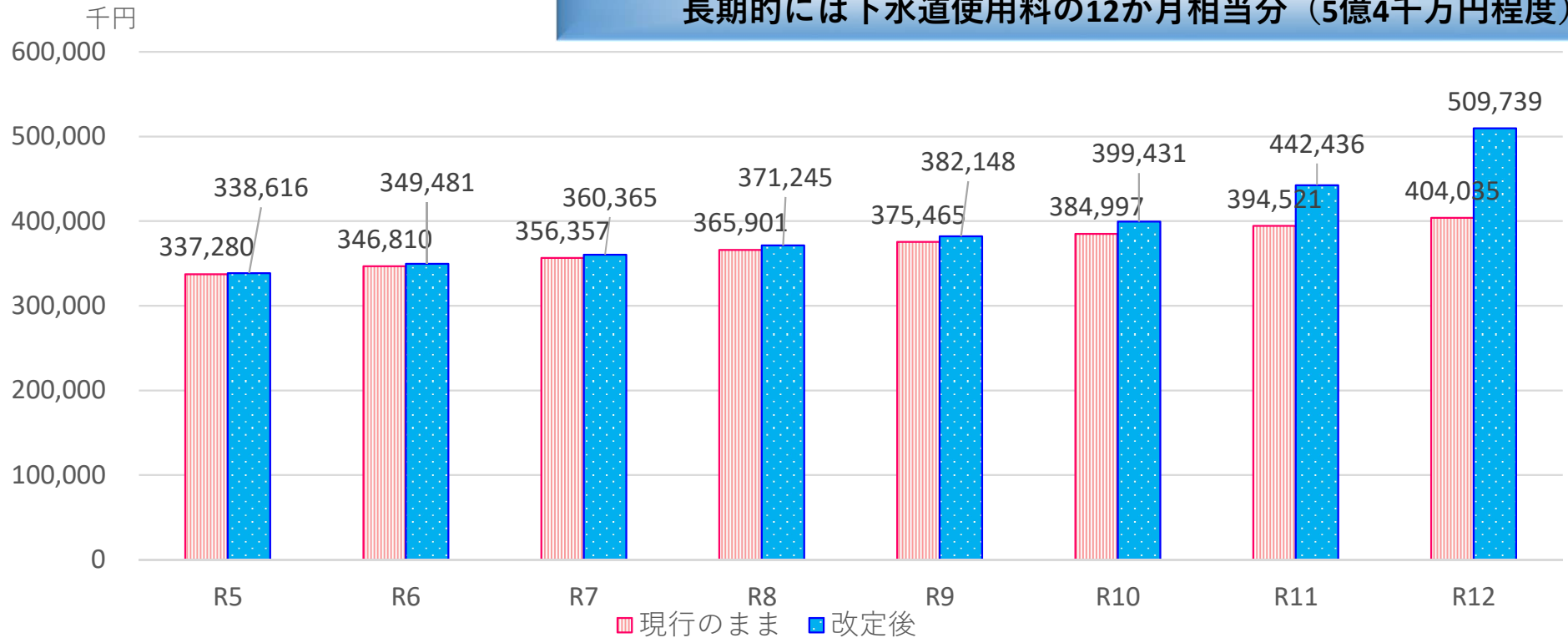
## ■ 資金残高の予測

### 成果目標

資金残高の確保

... 計画期間内は3億円

長期的には下水道使用料の12か月相当分（5億4千万円程度）



※ スライド4ページの基本条件見直し後の収支で比較。

※ 令和9年度の使用料見直し時は料金据え置きとして試算した。

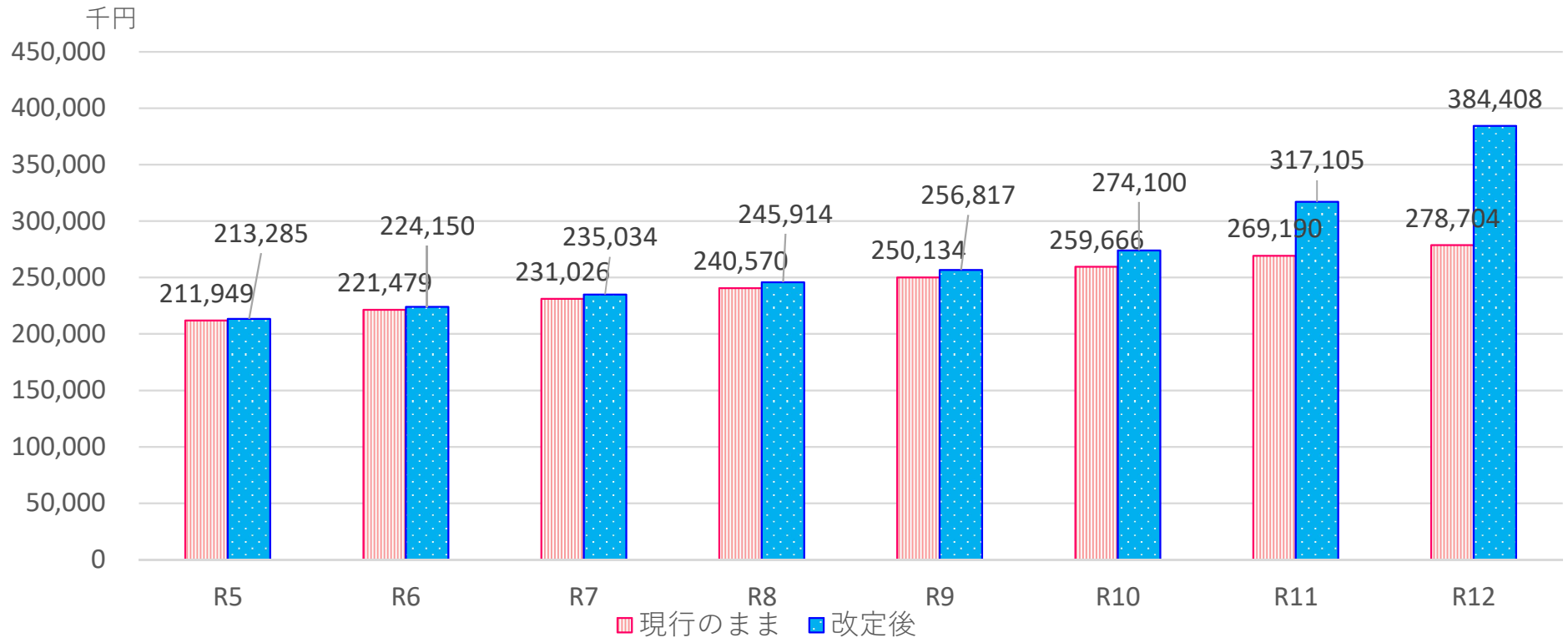
※ 基準外繰入金は資金不足となる場合のみ不足分だけ収入するものとして試算した。

現行使用料のままでも計画期間内の目標3億円の確保は達成できる。

## ■補填財源残高の予測

成果目標

補填財源の確保 ... 毎年度



※ スライド4ページの基本条件見直し後の収支で比較。

※ 令和9年度の使用料見直し時は料金据え置きとして試算した。

※ 基準外繰入金は資金不足となる場合のみ不足分だけ収入するものとして試算した。

現行使用料のままでも計画期間内の補填財源の確保は可能である。

## 5. まとめ

- 令和5年度に料金改定を実施し、その後12年間は料金を据え置いた場合でも財政健全化の判断指標となる「当年度純利益」「補填財源残高」「資金残高」は確保できる見通しである。
- 今後も4年毎に料金見直し検討を実施する。
- 今回の料金見直しでの予測と大きな乖離がなく、また財政の健全性も確保できる状況であるならば、料金は改定せず据え置く。



## II. その他

---

